

月刊学校教育相談

編集・学校教育相談研究所

2015
3

月刊学校教育相談

特集2

気になる子との相談、年度をまたぐ引き継ぎの工夫

特集1

新年度、学級目標を決める際の二工夫



ほんの森出版

昭和62年10月12日第3種郵便物認可 2015年3月1日発行 毎月1回1日発行 第29巻第4号

定価800円 本体741円

Excel 2013 対応版

新年度からの使用開始で子どもたちの変化をキャッチ!

アセス (学級全体と児童生徒個人の) アセスメントソフト の使い方・活かし方



CD-ROM付き! 自分のパソコンで結果がすぐわかる

栗原慎二・井上 弥/編著

2,500円+税

広島大学大学院教育学研究科教授

contents

- 1章 アセスとは
 - 2章 アセスの実施の仕方
 - 3章 アセスの基本的な読み取り方
 - 4章 アセスを用いた校内研修会の進め方
 - 5章 児童生徒の学校適応を促進するために
- 付章 アセスの理論的背景と開発手順

子どもたちに34項目のアンケートに答えてもらい、結果をパソコンに入力すると、カラフルで見やすい個人票や学級票が出力されます。アンケート用紙もCD-ROMに入っており、費用もかからず、すぐに結果が見られます。もちろん、尺度の信頼性は検証済みです。

ご注文は、書店でお取り寄せいただくか、直接小社に電話やFAX、ホームページから(送料1冊100円で、すぐに直送)。本書のより詳しい内容は、ホームページ(<http://www.honnomori.co.jp>)をご覧ください。ほんの森出版 検索

Tel 03-5754-3346

Fax 03-5918-8146

ほんの森出版

〒145-0062

東京都大田区北千束 3-16-11



大好評の菅野 純の本をご紹介します!



1,600円+税

子どものこころを育てる「ひとこと」探し

「教育の言葉」を磨くためのヒントや、実際に子どもが励まされ、元気づけられた「ひとこと」がいっぱいです。クラス全員をいっぴんに抱きしめるような「ひとこと」を!



1,600円+税

子どもの問題と「いまできること」探し

すぐキレる子、理解しがたい言動で教師をふりまわす子、協力関係をつくるのが難しい保護者など、多くの先生方が抱えている切実な悩みに「いまできる」確かな提案が満載!



1,600円+税

教師の心のスイッチ

心のエネルギーを補給するために

複雑で多岐に渡り、多忙で負担の多い学校の仕事...先生方に心のエネルギーを注ぐスイッチは、大丈夫でしょうか?

心の奥底にやさしく染み込む『読むサプリメント』

ご注文は、書店でお取り寄せいただくか、直接小社に電話やFAX、ホームページから(送料1冊100円で、すぐに直送)。本書のより詳しい内容は、ホームページ(<http://www.honnomori.co.jp>)をご覧ください。ほんの森出版 検索

Tel 03-5754-3346

Fax 03-5918-8146

ほんの森出版

〒145-0062

東京都大田区北千束 3-16-11



4910134330354
00741

雑誌 13433-3

コーチングを使った 目標設定

学校でのクレドは、学級目標をもとに具体的な行動目標を設定し、それをわかりやすい言葉にまとめたものになります

愛知県刈谷市立朝日中学校教諭
神谷 和宏
かみや かずひろ

コーチングやカウンセリングを学び、各地でメンタルコーチングの活動や、教育委員会・各学校での現職教育の研修も担当しています。

私たちの地域では、学級目標は「級訓」と呼んでいます。級訓を決める際によくある指導は、子どもに宿題として二、三日考えさせ、発表し、多数決で決定するというものです。何となくカッコよく聞こえるものや目新しいものが選ばれます。このような決め方ですと、一年間飾りのようになってしまう。

そんなふうにならないために、私はコーチングをベースに学級目標を設定して

きました。ここでは中学二年担任としての取り組みを紹介します。

なお、コーチングについては、本誌の読者はご存知の方も多いと思います。簡単に言うと、教師からの指示命令型・教え込み型の指導スタイルから、生徒の気づきを誘発し、自発的な行動を引き出す指導スタイルに変更しようというものです。「子どもたちの潜在能力を引き出し、自発的な行動を促すためのコミュニケーション

ンスキル」と定義されることが多いようです（詳細は参考文献をご参照ください）。

＜ステップ1＞

教師の願いを明確にしておく

まず、学級目標の設定の準備として、二つのことを心がけています。

一つ目は、教師の学級への願いを明確にしておくことです。できることなら、その願いが具体的に数値で表せる内容であるといいでしょう。当時の私は「いいじめのない学級にしたい。そのために不登校を0にする」という願いがありました。

二つ目は、教師と生徒とのコミュニケーションづくりです。お互いに駆け引きしたり、気持ちバラバラであれば、ともに学級をつくり上げようという気持ちも持てないでしょう。

四月最初の三日間くらいは、教師も生徒もお互いに様子をうかがっています。このときに「生徒が自発的に活動できる集団であるか？ あるいは、どちらかというと指示を待っている集団であるか？」を見極めます。自発性を望んでいる集団

あくまで生徒の自発性を尊重します。

＜ステップ2＞

現状を把握する

テーマが決まったら、そのテーマの現状を生徒が把握できるような話し合いを進めていきます。コーチングのステップは、現状把握→目標設定→リソース（使えるもの）の探求→行動プランと続くのが一般的です。

教師は生徒のあいまいな言葉を明確にしたり、物事を深く掘り下げる質問を投げかけます。それにより、生徒自身に現状をしっかりと把握してもらうのです。

例えば次のようなやりとりになります。
教師：男子と女子の仲が悪いという関係は、今はどうかな？

生徒：あいかわらず意見が合いません。

教師：意見が合わないっていうのは、具体的にどういふことなのかな？

生徒：例えば、学級でレクをやるとき、男女のやりたいことが分かれて、結局は別々のことをやっています。

教師：男子と女子の仲が悪いことで困って

学級目標設定のステップ

- 1 教師の願いを明確にしておく
- 2 テーマを決める
- 3 現状を把握する
- 4 目標を設定する
- 5 学級目標にまとめる
- 6 クレドを作成する
- 7 確認をする
- 8 振り返り、継続する
- 9 承認する

学級目標をどんなテーマで設定するか

＜ステップ2＞

テーマを決める

であれば、任せる場面も増えるでしょう。指示を待っている集団であれば、アドバイスやサポートをていねいにしていくことになります。

生徒とのいいコミュニケーションをつくる基本は、まずは「生徒の声を最後まで、批判せずに聞く」ことだと思います。特に四月は連絡事項が多くて、どうしても一方通行になりがちです。せめて学級目標は一緒に考えたいものです。

は、原則、生徒が決めますが、「今年度、実現したいこと」「解決したい問題」「向上させたいこと」「気になっていること」など、生徒と学級にとってプラスになることをテーマにします。

例えば、生徒が今一番気になっていることが、「男女の仲が悪いこと」や「友達関係」だとしたらいかがでしょうか？ 教師からすると「そんなことより勉強のことをテーマとするべきだ」と思うかもしれませんが、しかし、学級での友達関係がぎくしゃくしていたり、一部の生徒にみんなが振り回されるような状態では、勉強でも集中を欠いてしまうでしょう。

また、生徒が何をテーマにすればいいのか思いつかないこともあります。そのようなときには、「例えば、昨年度はいじめが問題になっていたけど、いじめをなくすにはどういう学級がいいかな？」というように教師がヒントを出すのも一つの方法です。ただし、「もし、君たちが本当にこのテーマでいいと思ったらそうすればいいし、他にもっと扱いたいものがあれば、それを優先してください」と、

教師：さて、級訓が決まりました。これを
実現させるために、どんなことを努力し
たらいいかな？ 少し考えてください。
生徒：まずは、あいさつだと思えます。登
校したら「自分からあいさつをする」と
いうのはどうでしょうか？
教師：まずはあいさつ、ですね。他には？
生徒：もちろんあいさつは大切ですが、や
らされた感じだと、口先ばかりのあいさ
つで、かえっていやな気持ちになります。
僕は温かい言葉がけも必要だと思います。
教師：なるほどね。口先ばかりじゃなくて、
言葉づかいに温かさが必要ですね。さて、
男女が協力し合える関係になったら、ど
んな変化が起これると思う？
生徒：学級全体のチームワークがよくなる
から、最強の学級！……
〈ステップ7〉
確認をする

クレドは作成して終わりではありません。
大切なのは毎日実践することです。
そのためには、クレドを毎日確認するこ
とが必要です。

私たちは、誰にでも自
分からあいさつをし
ます。

私たちは、級訓「スマイ
ル」を心がけ、誰にでも
温かい言葉がけ
をします。

**2年1組
CREDO**

私たちは、
チャレンジ精神をもっ
て、どんなことにもあき
らめません。

私たちは、
友達の良い所を学び、
チームワークを大切にし
ます。

目につきやすい所に掲示するとともに、
小さく印刷したものを生徒手帳に貼って
携帯させます。朝の会で、全員で唱和す
るのもいいでしょう。
また、日常生活で気になるようなこと
があったとき、例えば、女子は一生懸命
掃除をしているのに男子は遊び半分とい
う場面を見かけたら、「あれ？ このクラ
スのクレドは何だったかな？」などと問
いかけます。クレドが浸透していれば、
すぐに気づきが生まれます。
〈ステップ8〉
振り返り、継続する
日々の実践は、継続が一番大切です。
それには、わずかな時間でも、毎日、振
り返りの場面を持つことです。
例えば、帰りの会で「今日は、自分か
らあいさつができた人は手を挙げてくだ
さい」などとクレドに関連したことを簡
単に自己評価する機会を持ちます。
〈ステップ9〉
承認する
最後に、生徒がうまくやれたとき、努
力をしているときに、きちんと承認の言
葉かけをしていきます。生徒はやはり、
認められることで意欲が高まります。

〈参考文献〉
・神谷和宏「図解 先生のためのコーチングハンドブ
ック」明治図書
・神谷和宏「教師のための「続ける力」コーチング」
学陽書房

いることは？
生徒：掃除のとき机運びで協力しなかつた
り、お互いの会話でも「お互いをバカに
している」ように感じます。
〈ステップ4〉
目標を設定する
現状が具体的に把握できたら、次のス
テップは目標設定です。生徒は未来のイ
メージが明確になればなるほど、目標達
成への一歩が踏み出しやすくなりますか
ら、理想の未来がどんな状態になってい
るのか、そこで何が起これるのかを具体的
にイメージしてもらうと大変効果的です。
教師：男子と女子の関係がどうなるという
と思う？
生徒：お互いが協力して、自然にサポート
し合える関係がいいと思います。
教師：男女が協力し合える関係になったら、
どんな変化が起これると思う？
生徒：学校に来るのが楽しくなるし、笑顔
で話せるようになると思います。
教師：笑顔で話せるようになるんだね。他
には？

生徒：学級対抗の球技大会や合唱コンク
ールで優勝できるかもしれない。
教師：それはいいですね。まだあるかな？
生徒：楽しく学校に来られるということとは、
いじめも減ると思うし、勉強にも身が入
ると思います。
〈ステップ5〉
学級目標にまとめる
目標設定で出てきたキーワードを、学
級目標としてまとめていきます。
教師：みんなの意見をまとめると、学級の
目標は、「男女が仲良く、笑顔で過ごせる
クラス」のように思えるのですが、これ
を「級訓」として覚えやすい言葉にまと
めるのはどうしたらいいと思いますか？
生徒：笑顔が大切なので、僕は「スマイル」
がいいと思います。
教師：それはいいですね。それで……
生徒：（ス）素敵な仲間と、（マ）毎日楽し
く、（イ）いつも元気に、（ル）ルンルン
気分というのは、どうかな？
生徒：賛成！ すごいね。
生徒：うん、さえてるね！

教師：では、「スマイル」ということで決定
していいかな……

〈ステップ6〉
クレドを作成する
クレド (credo) とは「信条」を意味す
るラテン語で「組織の信条や行動指針を
簡潔に記したもの」を指します。ここ数
年、一般企業で盛んに作成されるようにな
っています。ホテルのリッツ・カール
トンでは、従業員はクレドが書かれたカ
ードを携帯し、自主的な行動を促すため
のツールにしています。
学校でのクレドは、学級目標をもとに
具体的な行動目標を決定し、それをわか
りやすい言葉にまとめたものになります。



級訓の込められた願い
素敵な仲間と、
毎日楽しく、
いつも元気に、
ルンルン気分